

新年は清々しく迎えたいものだが、今年は残念ながらそうはゆかなかつた。

国会の審議を経ることなく、敵基地攻撃能力強化、戦時国債発行、増税、四十年超原発の稼働、などを岸田政権が発表していたからだ。もはや憲法は無視され、法治国家としての体をなしていないのが現在の日本である。国会議員は統一教会に支配され、安倍氏狙撃犯の責任だけが追及され、その原因を作り出した人たちは何の責任も問われていない。

● 我知らず内に固まり動かせぬあきらめの有り初日に向かう

行動しなければならぬ、と思いつつも何もできない自分が実に不甲斐無い。

● 急せがるごと過行く時に残れるはあと幾許いくばくと妻はつぶやく

八十を過ぎると、急に残る年月が気になる。数えるでないと妻には言いつつ、自らも知らずしらず数えている。

● 力ふ尽くし築きしものも時古れば時代遅れと呼ばれる悲しむ

嘗て最新鋭といわれる計算機制御システムを作り上げたが、十年も経つと古くなってしまった。建築家がうらやましい。

● はや三年みつせコロナ恐れて身をかめ人にも合あわず旅にもゆかず

カミュの「ペスト」を読んで疫病の流行と都市の遮断はそんなものかと思っていたが、コロナは終焉が見えない。

● 小春日に富士の白雪溶けにけり新清水あらたしみずはいずくへ流る

富士山頂は雪に覆われているが、少し暖かい日が続くと南斜面は黒い山肌を表す。溶けた雪は清水となって山を流れ下るのだろう。その流れはどこへ向かって流れてゆくのか？

今月は残念ながら重苦しい歌ばかりになってしまった。こういう時にこそ元気を出して明るくなることを心掛けなければと思う。